

（株）日本国際放送（JIB）の 独自放送について



株式
会社 日本国際放送
Japan International Broadcasting Inc.

2007年8月

「情報通信審議会」答申

2008年4月

国際放送強化の改正放送法施行 NHKの法定子会社、JIB設立

資本金 3億9,000万円 NHKグループ 2.5億円(64.1%) ※NHK 2億円(51.3%)

NHKグループ外 1.4億円(35.9%)

→ 商社、民放、通信企業、IT企業、銀行・証券会社等 “オールジャパンで発信”

2009年2月

NHKテレビ国際放送の大幅な改編、JIBが独自放送を開始

放送法 21条

協会は、テレビジョン放送による外国人向け協会国際衛星放送の業務を円滑に遂行するため、収支予算、事業計画及び資金計画で定めるところにより、次に掲げる業務を行うことを主たる目的とする会社を一に限り子会社（略）として保有しなければならない。

一 協会の委託を受けてテレビジョン放送による外国人向け放送番組を制作すること。

二 協会の委託を受けて、電波法の規定により基幹放送局の免許を受けた協会以外の者又は外国の放送局を運用する者に対し、その放送局を協会が行うテレビジョン放送による外国人向け協会国際衛星放送の業務の用に供させること。（←いわゆる「受信環境整備」）（以下略）

JIB放送枠(jibtv)について

NHK WORLD
JAPANNHK WORLD-JAPAN 24時間放送
5～6時間セットを4～5回ループで編成

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
1 時間目	NEWSLINE				30		10
	30	30	30	30	30	50	50
2 時間目	NEWSLINE				30		10
	30	30	30	30	30	50	50
3 時間目	NEWSLINE				30		10
	30	30	30	30	30	50	50
4 時間目	NEWSLINE				30		10
	30	30	30	30	30	50	50
5 時間目	NEWSLINE				30		10
	30	30	30	30	30	50	50
6 時間目	NEWSLINE				30		10
	30	30	30	30	30	50	50

jibtv

NHK WORLD-JAPAN内
jibtv枠放送時間

毎週金曜日(JST)

- ① 11:30～12:00
- ② 16:30～17:00
- ③ 22:30～23:00
- ④ 土曜日4:30～5:00

jibtv(JIBの独自番組)
※現在、週1枠放送しています。

jibtv
30分枠フォーマット

ジングル

番組タイトル

jibtv

番組本編
タイトル+本編
+エンドを含めて
26分～28分

提供クレジット/CM

ステーションブレイク 2～4分

ジングル

- 1) 協賛企業等紹介（提供クレジット） 指定ロゴ表示（+読み上げ）
- 2) CM放送

CM事例

企業の英語CMを放送



日本語のCM素材を翻訳、字幕を付けて放送



Speeding to Glory: The Shinkansen



新幹線は長い歴史の中で「死傷者ゼロ」の安全性高速鉄道の安全を守るため、自動列車制御装置を誇り、平均遅れ時間1分以内と世界で最も信頼性が高い。備え、新幹線総合指令所が全ての運行状況を管理している。UIC世界高速鉄道会議の模様を織り込みながら、安全と信頼の新幹線の魅力の全貌を紹介します。

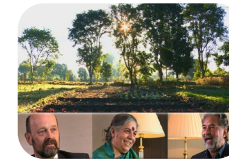
FORWARD



「FORWARD」は2012年2月から10月まで放送した震災復興番組シリーズです。タイトルは、前へ、先を見て、将来に向かって進もうという思いを込め、震災を乗り越え、力強く歩を進める日本の姿を発信するという意味で名づけました。

番組は、各民放局をはじめ映像プロダクション会社の協力を得て42本制作し、再放送を含め合計85回放送を行いました。

Web of Life The MIDORI Prize for Biodiversity



公益財団法人イオン環境財団が主催し、国連環境計画・生物多様性条約事務局が共催する「第5回生物多様性みどり賞」を受賞した3氏の活動と意思として未来に対するメッセージを届けます。

OUR BLUE PLANET Uncovering Clues for a Sustainable World



地球環境問題への貢献を称え毎年2組に贈られるブループラネット賞。今年の受賞者はオーストラリアの生態学者プライアン・ウォーカー教授とスウェーデンの国際水文学者マリリン・ファルケンマーク教授です。番組は二人の功績と具体的な活動を紹介しています。

The Next 100 Years Cultivating New Potential



巨大企業が生き残るために今、何が必要なのか？創業100周年を迎えた日本を代表する総合家電企業パナソニックが、次の100年を生き抜くために注目しているのは人材。有能な人材をさらに活かそうと、様々な取り組みを始めている。

「Contributing Sustainable Value」と共に2部作。

The Road to TICAD7 Africa and Japan: Partners in Development



日本政府はアフリカ開発をテーマに1993年から国際連合などとの共催でTICAD(アフリカ開発会議)を開催。2019年で7回目となるTICAD7開催の前に、10月6、7日にTICAD閣僚会合が東京で開かれます。アフリカの発展に取り組む日本の企業や人材育成や農業振興の分野での日本の支援を紹介し、TICAD7に向けた今後の展望を探ります。

●設立直後、世界的な大不況

2008年4月JIB設立の直後の9月、リーマン・ブラザーズ経営破綻。世界恐慌以来の世界的な大不況となり、民間スポンサー獲得が困難に。
その後も苦戦続く。

●「世界1波」

2013年「放送政策に関する調査研究会 第一次取りまとめ」

「JIB独自番組の時間枠を拡大するためには、広告放送の増加（広告料の増収）が課題となるが、世界一波での放送であることから、グローバル広告がメインとなり、広告のスポンサー獲得にも限界があるのが実情である。」

●民間企業に説得的な視聴データ

国際放送では視聴率の把握が困難。モニター制度による分析を行っているが、説得的な視聴データを得ることが課題。

- 再生回数を把握できるインターネットでの動画配信を推進し、JIB公式YouTubeフォロワー数の拡大などに全力
- 民放と共同制作・営業連携
- CATV局等との連携を探る など



Japan
International
Broadcasting Inc.